

# たいい 報 よう



2021.5/25  
NO11

NPO法人 埼玉自然エネルギー協会  
〒336-0021  
埼玉県さいたま市南区別所2-29-8  
Tel 090-7843-8653  
E-mail:info@saine-2013.com

- ①ソーラーシェアリングの可能性
- ②太陽光発電普及の障壁と打開策についての一考察
- ③メガソーラーは必要か
- ④「彩の国でんき」近況報告

「東京新聞」2017年3月7日等をはじめ多様なタイプのソーラーシェアリングが設置されてきています。

埼玉自然エネルギー協会でも2017年12月にアースシグナル社の協力をえてソーラーシェアリングの見学会を実施し、鳩山町、桶川市、上尾市のソーラーシェアリングを見学してまわったことがありました。パネルの下で栽培する作物も米や野菜等様々で、規模も様々だったように思います。しかし、この頃までの埼玉県でのソーラーシェアリングの取り

## 埼玉県で広がる新たな取り組み

営農型発電設備の設置許可件数 (2019年3月末現在)

	2017年度	2018年度	2018年度
	までの累計		までの累計
全国計	1,511	481	1,992
千葉県	255	43	298
静岡県	158	106	264
群馬県	164	32	196
徳島県	123	8	131
茨城県	73	38	111
埼玉県	35	65	100
福島県	67	8	75
山梨県	40	27	67

農水省農村計画課調べ  
注:2018年度末で50件以上の8県を取り上げた

組みは、千葉県や茨城県、群馬県、静岡県等の先進県に比べるとかなり遅れをとっていました。

ところが、2018年に入ってそうした状況は大きく変わりました。左の表をご覧ください。

これは農水省による2018年度末までの営農型発電(ソーラーシェアリング)の設

埼玉自然エネルギー協会理事

田畑 保

置許可件数を示したものです。2017年度までの累計が35件にすぎなかった埼玉県での設置許可件数が、2018年度には65件と一気に増加しました。静岡県に次ぐ全国2位の設置許可件数です。2018年度までの累計では100件となり、全国でも6番目の設置許可件数となりました。ソーラーシェアリング設置許可件数では、埼玉県は一気に上位県に躍進しました。

埼玉県でも、美里町での一般社団法人「メガソーラー機構」(本社東京都港区)によるソーラーシェアリングの設置(10畝の用地に105基、合計5kW規模、パネルの下では地元の農家が設立した農業法人「万葉ファーム」が柿等を栽培、「東京新聞」2017年3月7日等をはじめ多様なタイプのソーラーシェアリングが設置されてきています。

## 二〇一八年に大きく広がった、埼玉県のソーラーシェアリング

# ソーラーシェアリングの可能性

## 彩の国でんきの新価格について

自然エネルギーの開発と活用、地産地消をすすめるようこの目標を掲げる「株式会社彩の国でんき」の事業の重要性も日増しに高まっています。

「株式会社彩の国でんき」は、昨年末の小売電気事業者の資格取得後、卸電力市場での価格暴騰などに直面し、2月からの事業開始を延期し準備を重ね4月1日から事業を開始しました。

(一)「彩の国でんき」から電気を購入していただく準備  
まず電気の需要者(消費者)の方に、今ご利用いただいている電気の小売会社から私たちの「彩の国でんき」に切り替える申し込みをしていただく必要があります。



(二)電気代金の口座振替  
電気を購入していただく需要者からは、購入代金を毎月23日、銀行の口座振替で納入いただきます。切替申込用紙と合わせて口座番号用紙にご記入をお願いいたします。

(三)自然エネルギー電気の調達  
自然エネルギー電気を埼玉県内から調達する供給を受けるための事業も進めています。

太陽光発電をされ、固定価格買取制度で売電されている方には「彩の国でんき」へ売却する旨の特別な契約(特定卸といいます)をお願いいたします。別途、契約の準備をしております。固定価格買取制度が終了されている方(卒FITといいます)とは具体的な買取価格を相談させていただきます。

(四)料金制度について  
①従量料金の第二段階(300kWh)まで東電と同じ料金、円安い料金とします。  
②東電は石油・石炭などの化石燃料を使う火力発電の原料費として燃料費調整制度を設けて従量料金に加算(減算)しています。私たちは、化石燃料に依存せず自然エネルギー電力を調達しますが、これは卸電力市場での価格に動かされ、昨年未から年初にかけてのような暴騰に見舞われるリスクがあります。従って、従量料金に燃料費調整制度ではなく、電源コスト調整制度を設け、直近3カ月の卸電力市場での調整価格を、基準単価(前年度の卸電力市場での調達価格の平均)に照らして(電源コスト調整単価「調達単価」×基準単価)×従量)を需要者への価格に加算(減算)させていただきます。

これによって、卸電力市場での調達単価が基準単価よりも安い場合は、需要者に還元する、高い場合は需要者に負担していただくこととなります。なお、今年1月のような価格暴騰の場合は負担の上限を設けるようにいたします。

### 理事会通信

2021年4月10日(土)10時~12時 コーププラザ浦和  
コロナ感染が拡大する中でしたが、対策を行った上で2か月ぶりに理事会を開催しました。議題は、①今後の協会の活動について、②「彩の国でんき」の近況報告の2点を話し合いました。理事会は会員の皆様にも参加いただけます。電話又はメールにてご連絡ください。ともに学んでいきましょう。

### 編集後記

菅内閣は、世界が実質炭素ゼロを打ち出す動きに押される形で「脱炭素社会をめざすグリーン戦略」という新たな目標を示したわけですが、その中身は炭素を出す火力発電と危険な原発で3~4割を占めるという、世界からは大きく立ち遅れた目標となっています。来たる第9回総会記念講演で、こうした問題点を皆さんとともに学びましょう。

埼玉自然エネルギー協会は7年間で市民共同発電事業を9か所で取り組んできましたが、増々緊急な気候変動に対して脱炭素をめざしていく上でさらなる自然エネルギーの活用が求められています。

当協会の設立目的は「温暖化防止と脱原発、自然エネルギーの地産地消、再エネの取り組みを推進し、持続可能な地域社会づくりに貢献していく」ことですが、これらを推進する要となる事業的な取り組みが不可欠との立場から小売電気事業「彩の国でんき」を立ち上げました。

「彩の国でんき」は、市民の出資、市民の電気購入と提供、市民の自然エネルギー開発、市民の環境保全と持続可能な地域社会づくりへの運動があつて前進します。埼玉自然エネルギー協会は、このために、ともに力を合わせていきます。ぜひ会員のみならず「彩の国でんき」への切り替えを、心からお呼びかけ致します。